

2015年2月26日
農業と福祉の連携
に関するセミナー報告資料

地方公共団体等における 農福連携の推進体制の構築に関する分析

—農業分野における障害者就労を事例として—

農林水産政策研究所
小柴有理江・吉田行郷

本日の報告内容

●地方公共団体における農福連携の推進体制（事例分析）

- （１）支援内容に基づく分類
- （２）各分類の事例分析
- （３）支援の特徴，主体の役割
- （４）地域農業・農村振興における意義
- （５）連携の推進体制の課題と展望

研究の背景

農業分野の課題

担い手の確保
農地等の維持・活用
...

福祉分野の課題

職域の拡大
工賃（賃金）の向上
...



- 【地域課題解決の共通の場づくり】
- 地域資源の活用（人的資源を含む）
 - win-winの関係を構築

課題と方法

●農業と福祉の連携（農業分野における障害者就労）

- 地域課題の解決につなげるには、連携を一層拡大していく必要



- 先行事例では、連携先の開拓や情報収集を試行錯誤の中で独自に実施



- 地域において連携の場を構築し、支援にあたる必要性



- 支援を行っている地方公共団体等の事例から、支援の特徴を分類し取組みの意義と課題を分析

農福連携の支援体制を構築している 地方公共団体等の事例

I・・・農作業請負のマッチング支援
III・・・福祉分野等からの農業参入支援

II・・・障害者の農業経営体等での就労支援
IV・・・I～IIIの複合的、段階的な支援

		実施主体名	開始年度	主な支援内容		
				農作業請負 (施設外 就労等)の マッチング	障害者の 農業経営 体での 就労支援	福祉分野 等からの 農業参入 支援
I	香川県	NPO法人香川県 社会就労センター協議会	2011年度	●		
	鳥取県	鳥取県 (農福連携推進プロジェクトチーム)	2010年度	●		
	静岡県・ 浜松市	NPO法人しずおか ユニバーサル園芸ネットワーク	2005年度	●		
II	名張市	名張市障害者アグリ 雇用推進協議会	2008年度		●	
	兵庫県	障害者農業訓練・就労支援 ネットワーク会議	2012年度		●	
III	大阪府	(一財)大阪府みどり公社 (農政チーム)	2005年度			●
IV	島根県	(公財)しまね農業振興公社	2012年度	●	●	●
	奈良県	奈良県 (農林部・健康福祉部)	2010年度		●	●

資料：聞き取り調査より報告者作成。

農福連携の支援体制を構築している 地方公共団体等の事例（再掲）

I・・・農作業請負のマッチング支援

III・・・福祉分野等からの農業参入支援

II・・・障害者の農業経営体等での就労支援

IV・・・I～IIIの複合的、段階的な支援

		実施主体名	開始年度	主な支援内容		
				農作業請負 （施設外 就労等）の マッチング	障害者の 農業経営 体での 就労支援	福祉分野 等からの 農業参入 支援
I	香川県	NPO法人香川県 社会就労センター協議会	2011年度	●		
	鳥取県	鳥取県 （農福連携推進プロジェクトチーム）	2010年度	●		
	静岡県・ 浜松市	NPO法人しずおか ユニバーサル園芸ネットワーク	2005年度	●		
II	名張市	名張市障害者アグリ 雇用推進協議会	2008年度		●	
	兵庫県	障害者農業訓練・就労支援 ネットワーク会議	2012年度		●	
III	大阪府	（一財）大阪府みどり公社 （農政チーム）	2005年度			●
IV	島根県	（公財）しまね農業振興公社	2012年度	●	●	●
	奈良県	奈良県 （農林部・健康福祉部）	2010年度		●	●

資料：聞き取り調査より報告者作成。

I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（香川県）

香川県：畑作が盛んな地域

冬レタス，ブロッコリー，ニンニク，タマネギ，金時ニンジン等
重量野菜や労働力を要する作物の栽培が行われてきた



高齢化の進行，労働力不足

栽培面積の縮小，耕作放棄地の増加
軽量野菜に転換せざるをえない状況



2009年～県とJAによって，農業経営体での障害者の施設外就労の受入を試行
2011年～本格化

共同受注窓口：NPO法人香川県社会就労センター協議会
県の主要品目であるニンニクの収穫作業から開始

I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（香川県）

【香川県における共同受注の仕組み】

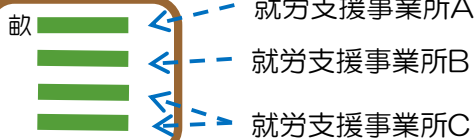
- ①農作業依頼 ≡ 共同発注
農業経営体→JA・JA部会→社会就労センター
- ②農作業受託 ≡ 共同受注
社会就労センター→（募集）→障害者福祉事業所

専任コーディネーター（1名）
↓
マッチング

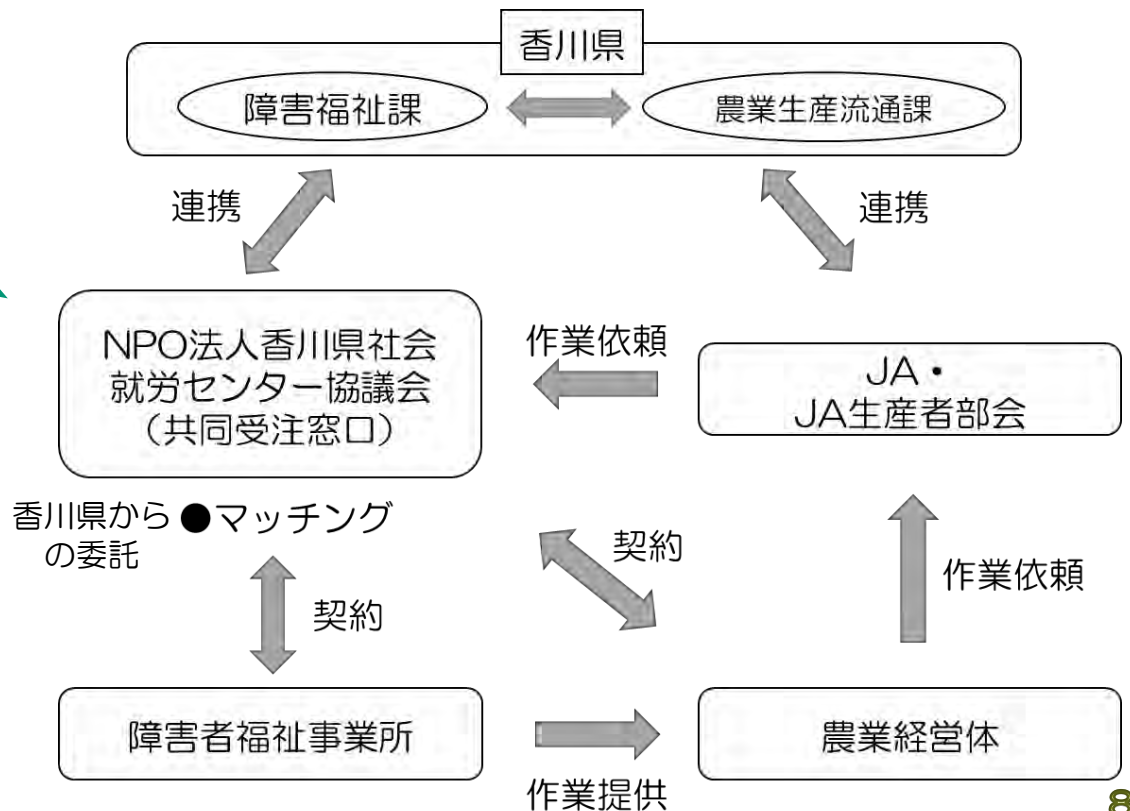
※共同受注⇒大口の受注も可能

農作業の共同受注のイメージ

農家Sの圃場



社会就労センターの役割：
受注（契約），発注（契約），
作業内容調整，スケジュール，
現場確認 等々



I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（香川県）

農作業請負（施設外就労）による作業の様子



にんにくの収穫

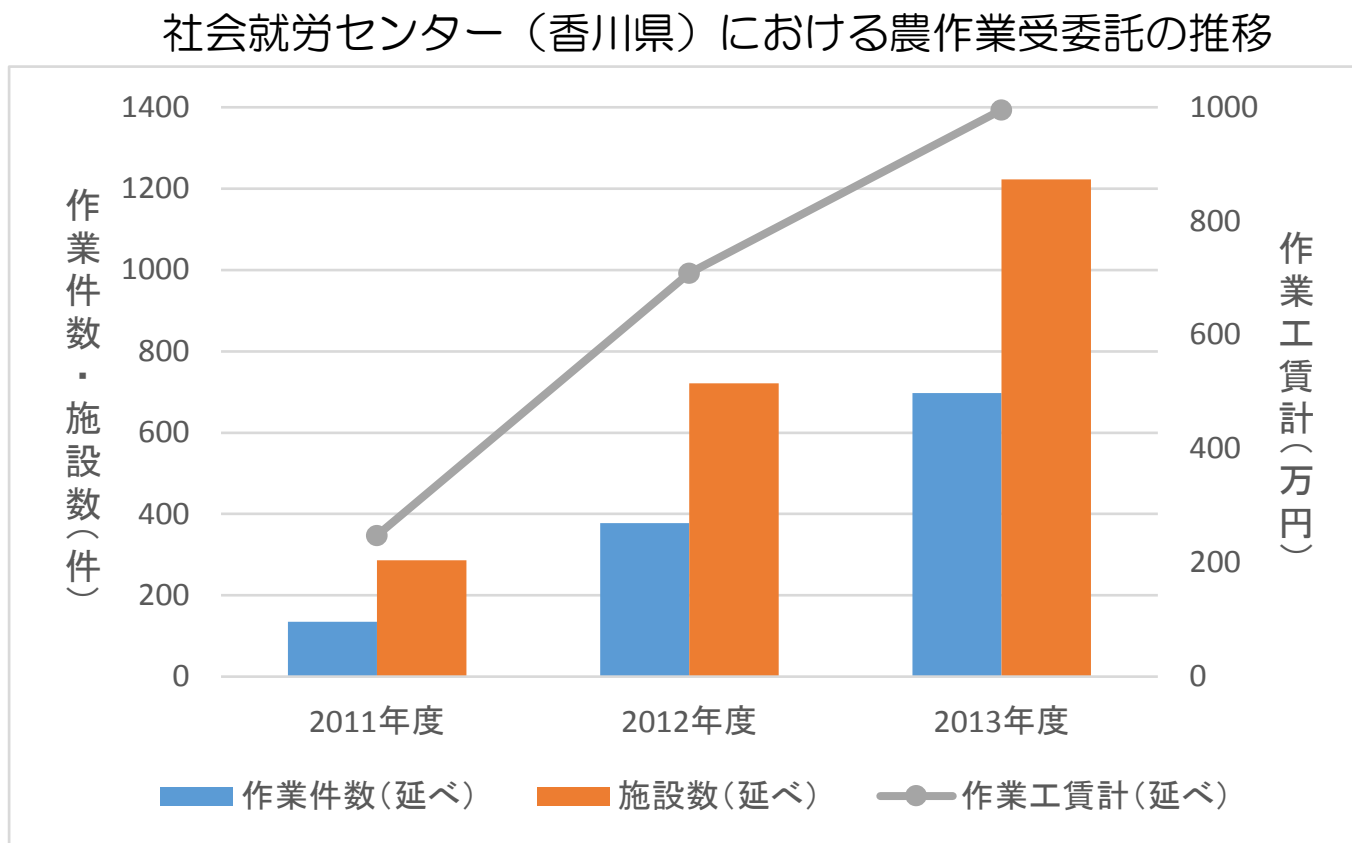


玉ねぎの収穫

写真：厚生労働省、農林水産省「福祉分野に農作業を～支援制度などのご案内～」より抜粋。

I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（香川県）

- 社会就労センターのメンバー約80の福祉事業所のうち、24事業所が参加
- 作業件数、のべ作業施設数とも増加傾向



I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（香川県）

- ・ 依頼品目，作業内容ともに多様化，高度化

社会就労センター（香川県）を通じて行われた農作業受委託の内容

品目	作業内容		
	2011年度	2012年度	2013年度
ニンニク	・ 定植 ・ 芽出し ・ 収穫 ・ 種子割	・ 定植 ・ 芽出し ・ トウ摘み ・ 収穫 ・ 種子割	・ 定植 ・ 芽出し ・ トウ摘み ・ 収穫 ・ 皮むき ・ 種子割
タマネギ	・ 定植 ・ 収穫	・ 定植 ・ 収穫	・ 定植 ・ 収穫
バレイショ	・ 収穫	・ 定植 ・ 収穫	・ 定植 ・ 収穫
レタス	・ 収穫	・ 定植 ・ 収穫	・ 定植 ・ 収穫
キャベツ	—	・ 除草 ・ 収穫 ・ 調整	・ 除草 ・ 収穫 ・ 調整
青ネギ	・ 除草 ・ 収穫	・ 定植	・ 定植 ・ 調整 ・ マルチ除去・ 除草
ビワ	・ 種取り	・ 袋かけ	・ 袋かけ
その他	・ ニンジン洗浄	・ 小松菜調整 ・ サトイモ除草	・ 小松菜調整 ・ サトイモ除草 ・ アスパラガス除草 ・ なばなの残渣処理

I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（香川県）

取組みの意義

◎農業サイド

- ・地域の主力品目における労働力確保・・・農繁期，重量作物等
- ・適期収穫による品質向上
- ・出来高払いによる作業料金の安さ ※作業の質の向上によって単価は上昇傾向
→経営規模の維持・拡大，所得向上 ⇒産地の維持

◎福祉サイド

- ・工賃向上・・・作業量の増加，質の向上
- ・自然とのふれあい，ストレス発散，体力づくり
- ・社会貢献を実感
- ・共同作業による福祉事業間の交流

課題

- ・作業委託件数が増加→受注先の開拓，受注しやすい体制整備（周年化等）
→コーディネート機能の維持←→予算の確保

I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（鳥取県）

鳥取県の特徴

- ・県が直接実施
- ・取組みの定着による直接契約への移行を目指す
- ・単価の高い品目（ラッキョウ等）への取組み支援

【背景】

果樹（梨），主要畑作物（ラッキョウ）
の生産における労働力不足

【経緯】

- ・2010年～農福連携モデル事業
- ・2012年～農福連携推進事業

【実績（2013年度）】

- ・マッチング件数・・・79件
- ・作業料金合計・・・526万円

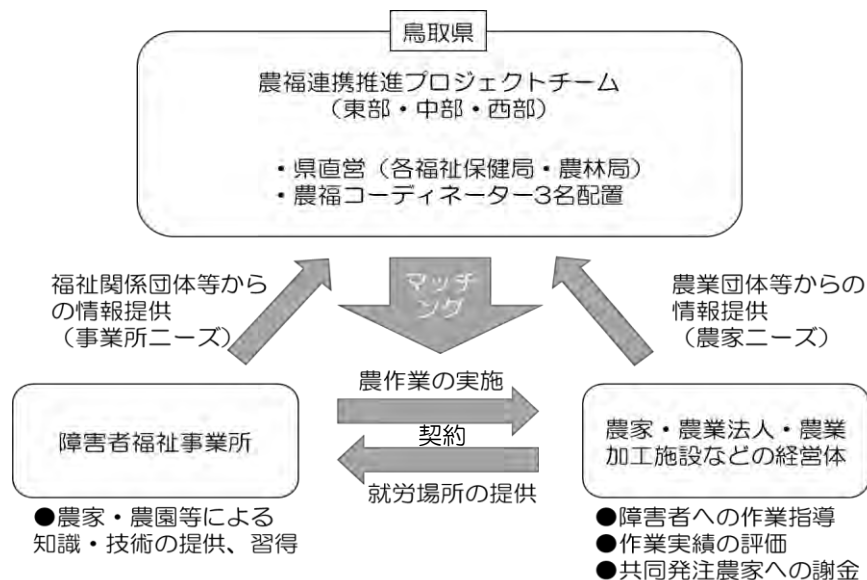
【意義】

◎農業サイド

- ・主力作物における労働力の確保
- ・Iターンの新規就農者等からも
繁忙期の労力として期待

◎福祉サイド

- ・職域拡大←軽電機の下請け作業の減少



【課題】

- ・共同発注体制の確立・・・作業依頼の拡大（依頼数，周年化等）
- ・共同受注体制の確立・・・大口依頼への対応
- ・コーディネーター配置の予算確保

⇒最終的には，取組みを定着させ，
福祉事業所と農業経営体との直接契約への移行を目指す

I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（鳥取県）

事例集の作成 （モデル事業時）

鳥取発！ 農福連携モデル事業 事例集

発行日：平成24年9月14日

原稿・取材：各障がい福祉支援プロジェクトチーム
編集・監修：鳥取県福祉政策推進センター
協力：鳥取県福祉政策推進センター
企画・編集：鳥取県福祉政策推進センター

ラッキョウの根切り作業

モデル事業による農家の受委託事例

ラッキョウは鳥取県の特産品で、鳥取市福部町では約120ヘクタールで栽培されている。耕転や堀取りなど機械化された作業もあるが、植付け、除草、出荷調整には人手が必要。

特に、5月下旬から6月中旬にかけて収穫されたラッキョウは「根付き」や「洗い」などの出荷規格に合わせた出荷前の調整作業が必要で、時期の限られた作業も集中するためほとんどの農家がパートや作業委託で人手を確保している。

ラッキョウの根切り作業は、精神障がい者などの施設利用者6人で1日5時間の作業を計18日間実施。「根付き」規格という出荷規格に合った仕上がりとなるよう余分な根と葉を切り落とす作業を行った。



作業風景

作業のモチベーションを維持させるため、一つのコンテナに向かい合うよう作業台を配置し、作業後のラッキョウがコンテナにたまりやすくした。

根切りの作業台

包丁がしっかりと固定されている。作業は手袋を着用して行った。



主な工程

1. コンテナからラッキョウを取り出し、両手で持つ。
2. 台に固定された包丁に押し当てて不要な根・葉を切る。
3. 切ったラッキョウは別のコンテナに入れる。



アンケート抜粋

農業者「仕事がとても丁寧で、安心して作業を行ってもらうことが出来た。」

施設「慣れるまで、根切りの長さ（切り落とす位置）に苦労した。また、作業のモチベーションを維持させるため、作業台の設置方法を工夫した。」

作業における配慮、指導方法のポイント

- 生鮮品なので必ず1日で一連の処理を終える。
- 臭いが強いので換気に注意し、適度な休息時間を確保する。
- 鋭利な刃物を使うので、手袋をするなど怪我の防止に努める。
- 規格に合った切り方や不良品の選別ができるよう技術習得する。

プロジェクトチーム、マッチングセンターでの工夫

- 県域内の障害福祉サービス事業所等に呼びかけ、支援員と施設利用者を対象とした、作業体験研修を実施した。

プロジェクトチームでの検討結果、今後への所感

- 切る長さなど、求められる出荷時の仕様が、農家、加工場毎に異なるため事前に入念な確認が必要。
- 事業所内で作業するため作業途中で発注元による出来映えの確認が困難。

作業分析

ユニット別作業 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上		
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
難易度	難しい	普通	難しい									
地域性						西部	中部	中部				
障がいの種類												
身体的特徴												
その他												

- ・ 作業内容
- ・ 利用した農家、福祉事業所の声
- ・ 作業時の配慮、工夫、指導方法
- ・ 作業料金、作業地域、難易度、適性等の目安 …等を記載

資料：鳥取県福祉保健部障がい福祉課（2012）『鳥取発！農福連携モデル事業事例集』より。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/noufuku/>

I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（静岡県・浜松市）

静岡県・浜松市 の特徴

- ・民間NPO法人が主導，行政によるバックアップ
- ・特例子会社等による農作業請負のマッチング

【背景】

- ・施設園芸，果樹・野菜栽培における労働力不足
- ・農業分野における障害者就労の拡大

【経緯】

- ・2005年～ユニバーサル園芸研究会発足
メンバー：認定農業者，農業参入企業，
福祉団体，社会保険労務士等
事務局：浜松市
- ・2006年～NPO法人しずおかユニバーサル
園芸ネットワークとして法人化
- ・特例子会社の農業参入（農作業請負）

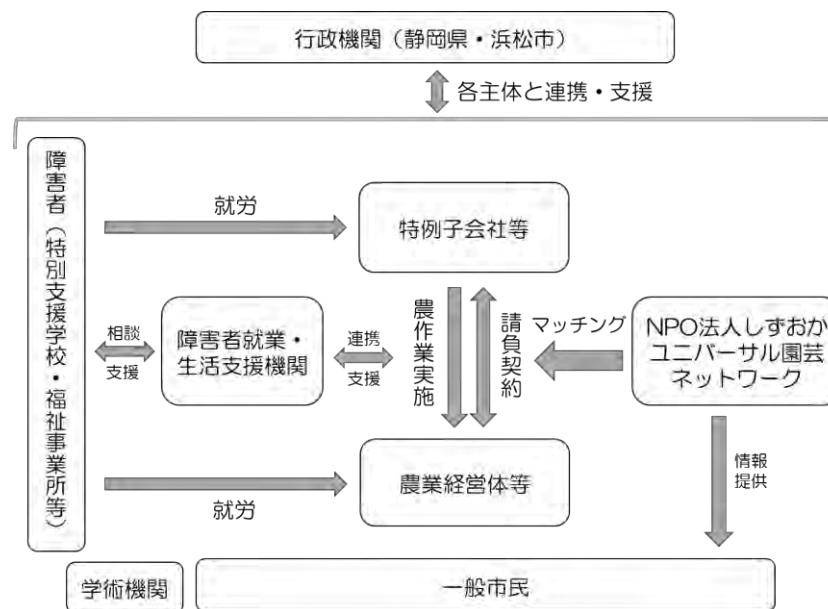
【意義】

◎農業サイド

- ・担い手の規模拡大→地域農業の振興

◎福祉サイド

- ・就労先の安定確保



- ・啓発活動
- ・特例子会社による農業参入モデル調査
- ・特例子会社へのコンサル
- ・特例子会社と農業経営体の農作業受委託マッチング
- ・障害者就業サポーター等の養成，派遣

⇒NPO法人が主体となり農作業受委託をマッチングする中間支援組織の確立を目指す

I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（静岡県・浜松市）

農作業請負による作業の様子



京丸園の水耕栽培施設における収穫作業

特例子会社が作業を請け負うことで規模拡大が可能に



上村農園のアスパラガス栽培施設

収穫量の1/3（調整も含めれば1/2）を特例子会社による作業に依存

I 農作業請負（施設外就労等）のマッチング事例（小括）

- 農作業請負・・・農業経営体における労働力不足の補完（機械利用を除く）



野菜，果樹

- マッチングの特徴

地域の主力品目の生産者，担い手（新規就農者，法人経営等）に重点
⇒農業経営の維持・拡大，品質向上等に寄与

- マッチングの機能と展開方向

マッチングの場の形成



マッチングの継続

・・・福祉事業所全体
としての技術向上
（香川県）



直接契約への移行

・・・関係性の継続
（鳥取県）

農福連携の支援体制を構築している 地方公共団体等の事例（再掲）

I・・・農作業請負のマッチング支援
III・・・福祉分野等からの農業参入支援

II・・・障害者の農業経営体等での就労支援
IV・・・I～IIIの複合的、段階的な支援

		実施主体名	開始年度	主な支援内容		
				農作業請負 （施設外 就労等）の マッチング	障害者の 農業経営 体での 就労支援	福祉分野 等からの 農業参入 支援
I	香川県	NPO法人香川県 社会就労センター協議会	2011年度	●		
	鳥取県	鳥取県 （農福連携推進プロジェクトチーム）	2010年度	●		
	静岡県・ 浜松市	NPO法人しずおか ユニバーサル園芸ネットワーク	2005年度	●		
II	名張市	名張市障害者アグリ 雇用推進協議会	2008年度		●	
	兵庫県	障害者農業訓練・就労支援 ネットワーク会議	2012年度		●	
III	大阪府	（一財）大阪府みどり公社 （農政チーム）	2005年度			●
IV	島根県	（公財）しまね農業振興公社	2012年度	●	●	●
	奈良県	奈良県 （農林部・健康福祉部）	2010年度		●	●

資料：聞き取り調査より報告者作成。

Ⅱ 農業経営体における障害者の就労を支援（名張市）

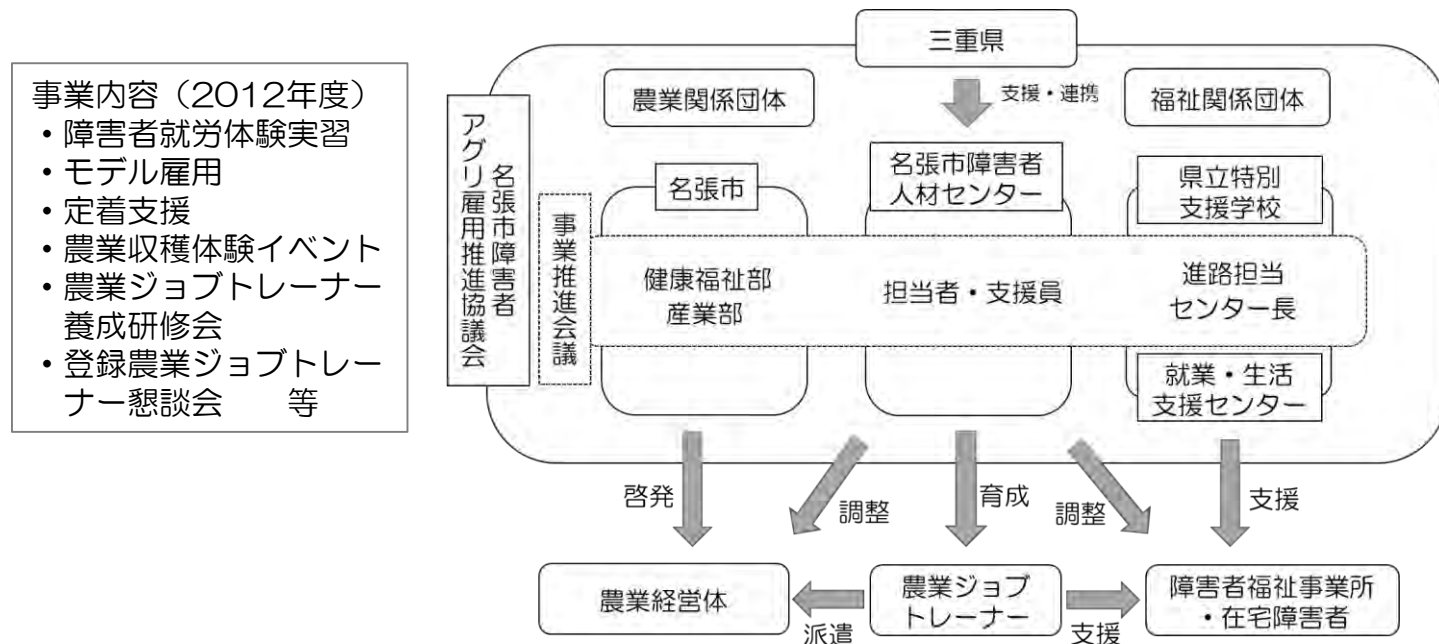
三重県名張市（県中西部）：水田兼業地帯，消費地近郊立地を生かした施設栽培



障害者就労を推進

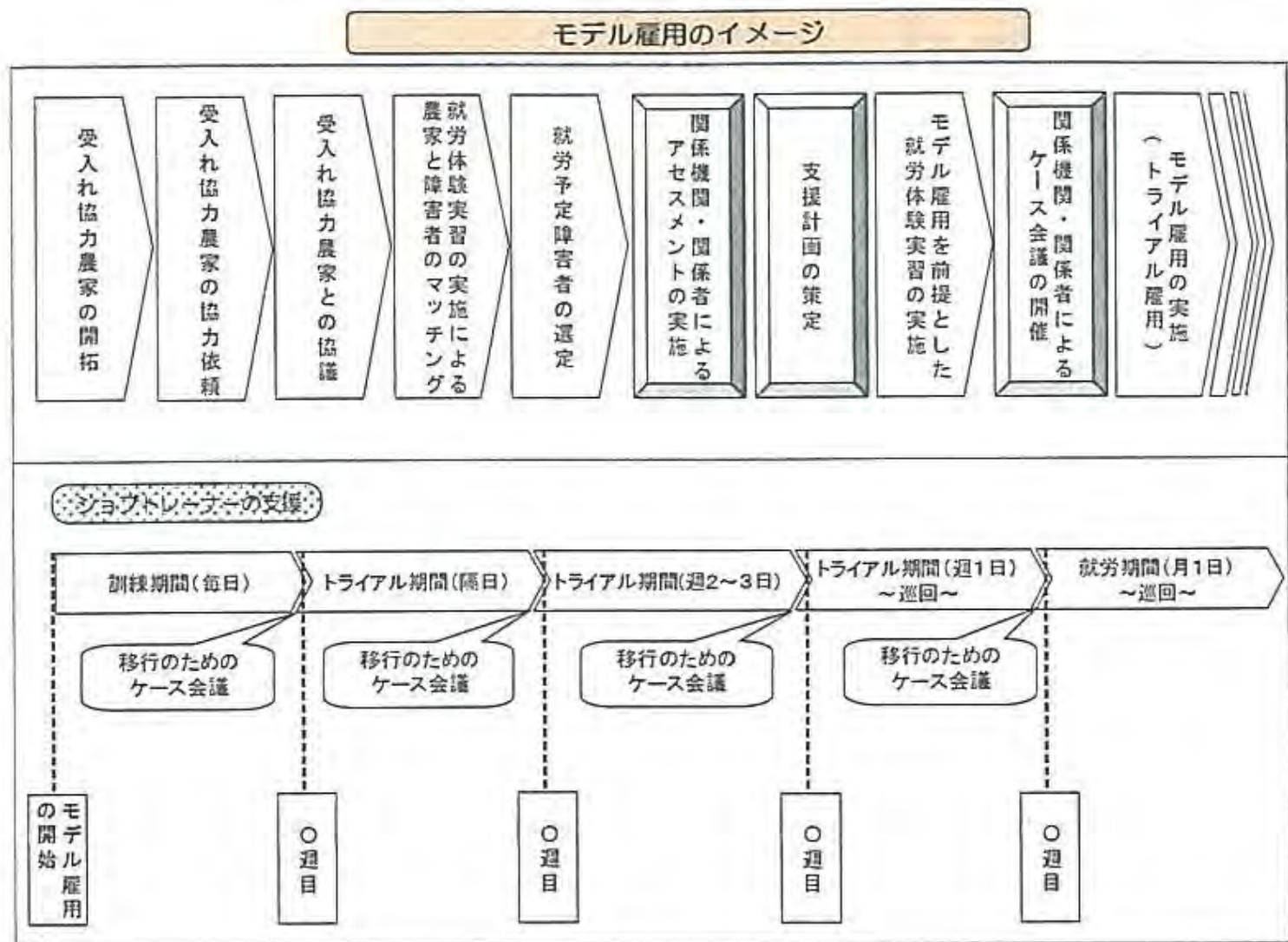
名張市障害者アグリ雇用推進協議会（2009年～）

- ・ 就労体験：農家での就労を希望する障害者に対し，
農家での就労体験やモデル雇用を推進
- ・ 現場指導を行う「農業ジョブトレーナー」を養成，派遣



- ・ 地域の関係機関が幅広く連携して実施

Ⅱ 農業経営体における障害者の就労を支援（名張市）



資料：名張市資料より

Ⅱ 農業経営体における障害者の就労を支援（名張市）

受入れ農家での作業の様子



Ⅱ 農業経営体における障害者の就労を支援（名張市）

実績（2012年度）

- 農業経営体での就労体験実習 ……計17回
 - 受入農家：12か所
 - 参加障害者数：136名
 - 参加ジョブトレーナー：のべ139名
- 農業経営体での就労経験（就労移行支援） ……1名
- 農業ジョブトレーナーの養成 ……のべ41名

課題

- 受入れ先の拡大 ……農家のインセンティブ向上
農業参入事業者の開拓 等
- 農作業請負のマッチング等の新たな取り組みも検討

Ⅱ 農業経営体における障害者の就労を支援（兵庫県）

兵庫県の 特徴

高等教育機関による農業実習支援、
農作業の適性分析研究

【背景】

- ・農業従事者の高齢化，耕作放棄地の増加
- ・農業分野における障害者の就業機会の拡大

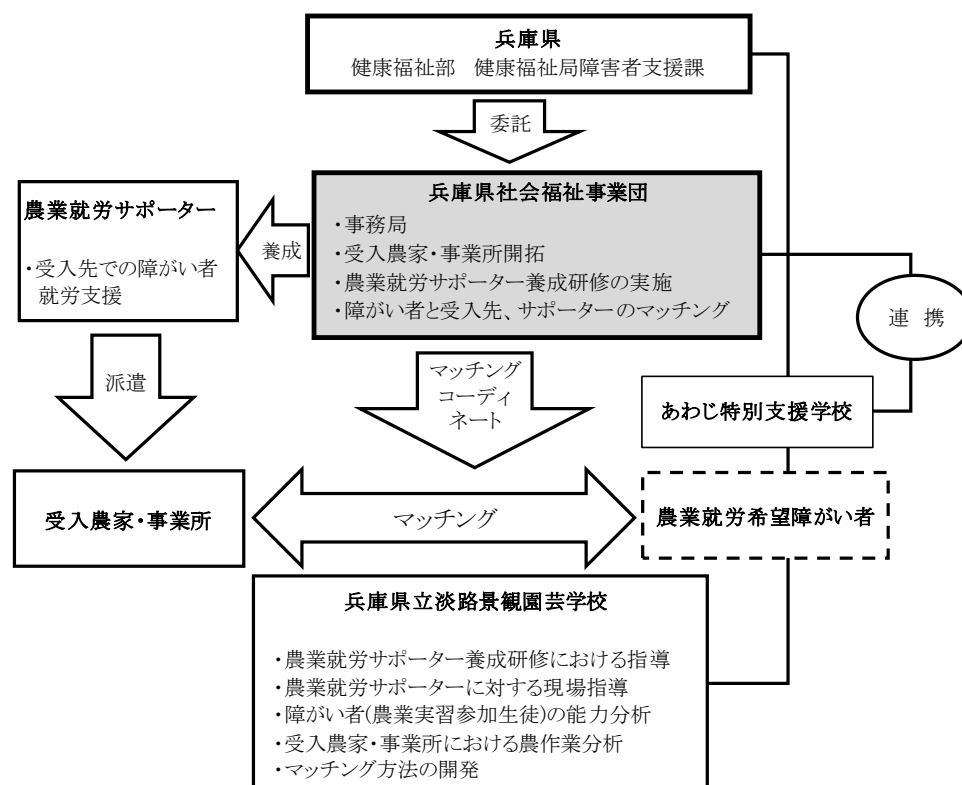
【内容】

- ・2011年度～農家・障害者・農業就労サポーターのマッチング事業
- ・2013年度～社会福祉事業団による事業運営（淡路島に限定した取組み）
：特別支援学校と高等教育機関が連携した農作業実習，適性研究

【実績（2011・12年度）】

- ・農家，A型事業所での就労・・・7名
- ・農業研修の実施・・・15名
- ・農業就労サポーター養成・・・21名

⇒2015年度～丹波地区でも同様の取組みを実施



注. 兵庫県が平成24年度に実施した「農業分野における障がい者の新たな就農モデル検証事業」における推進体制をイメージ化したものである。

Ⅱ 農業経営体における障害者の就労を支援（兵庫県）



農家での研修の様子



Ⅱ 農業経営体における障害者の就労を支援（兵庫県）



兵庫県立淡路景観園芸学校

Ⅱ 農業経営体における障害者の就労を支援（小括）

●農業経営体における一般就労に向けた支援

水田単作地帯等で園芸がそれほど盛んでない地域では、
多くの障害者が一度に働ける農作業を確保するのは困難

⇒こうした地域では、園芸を行っている農業経営体と障害者
とのマッチングを個別にマッチングすることが有効



こうした場合、農業経営体の障害者に対する理解不足が課題となる
⇒それを補う人材の配置が重要

名張市…農業ジョブトレーナー
兵庫県…農業就労サポーター，
高等教育機関での技術指導

農福連携の支援体制を構築している 地方公共団体等の事例（再掲）

I・・・農作業請負のマッチング支援
III・・・福祉分野等からの農業参入支援

II・・・障害者の農業経営体等での就労支援
IV・・・I～IIIの複合的、段階的な支援

		実施主体名	開始年度	主な支援内容		
				農作業請負 （施設外 就労等）の マッチング	障害者の 農業経営 体での 就労支援	福祉分野 等からの 農業参入 支援
I	香川県	NPO法人香川県 社会就労センター協議会	2011年度	●		
	鳥取県	鳥取県 （農福連携推進プロジェクトチーム）	2010年度	●		
	静岡県・ 浜松市	NPO法人しずおか ユニバーサル園芸ネットワーク	2005年度	●		
II	名張市	名張市障害者アグリ 雇用推進協議会	2008年度		●	
	兵庫県	障害者農業訓練・就労支援 ネットワーク会議	2012年度		●	
III	大阪府	（一財）大阪府みどり公社 （農政チーム）	2005年度			●
IV	島根県	（公財）しまね農業振興公社	2012年度	●	●	●
	奈良県	奈良県 （農林部・健康福祉部）	2010年度		●	●

資料：聞き取り調査より報告者作成。

Ⅲ 福祉分野等からの農業参入支援（大阪府）

取組みの背景

大阪府の特徴

①消費地立地を生かした集約的な農業



高齢化，耕作放棄地の増加

「府民参加」をキーワードに
多様な担い手による農業・農村の多面的機能の維持を図る

②大企業が立地→特例子会社の数も全国3位



法定雇用率上昇の中，農業分野にも関心が高まる

Ⅲ 福祉分野等からの農業参入支援（大阪府）

2004年～農福連携の勉強会「農事研究会」が発足

メンバー：特例子会社，社会福祉法人，学生NPO，大阪府みどり公社等

内容：農福連携のビジネスモデルを検討



2007年 研究会メンバーの特例子会社が水耕栽培による農業参入を果たす
その特例子会社をモデルに農業参入が活発化



大阪府みどり公社が農地保有合理化事業（現・農地中間管理事業）の一環として特例子会社，社会福祉法人等の農業参入支援

大阪府における特例子会社や

社会福祉法人等の農業参入数・・・16件（2014年時点，公社把握）

うち，特例子会社 4社

ほか，企業出資の就労継続支援A型事業所等も

Ⅲ 福祉分野等からの農業参入支援（大阪府）



●ハートランド（株） （コクヨ（株）の特例子会社）

- 2007年10月創業
- サラダほうれん草の水耕栽培

※左写真：ハートランド（株）提供



●（株）いずみエコロジーファーム （大阪いずみ市民生協が出資。 就労継続支援A型事業所 「ハートランド事業部」を設立）

- 2010年6月創業，2012年7月A型事業所設立
- 農業生産（露地・施設），加工調整

Ⅲ 福祉分野等からの農業参入支援（大阪府）

みどり公社の実績を受け、今後、大阪府も関わり取組みを強化する方向



2011年～大阪府「「農と福祉の連携」推進庁内連絡会議」を設置し、
部局横断的に取組みを検討

「農と福祉の連携」推進庁内連絡会議

〈大阪府〉

- ・ 福祉部 福祉総務課
- ・ 福祉部 障がい福祉室 自立支援課
- ・ 商工労働部 商工労働総務課
- ・ 商工労働部 雇用推進室 就業促進課
- ・ 環境農林水産部 環境農林水産総務課
- ◎ 環境農林水産部 農政室 推進課
- ・ 教育委員会事務局 教育振興室 支援教育課

〈公社〉

- ・ （一財）大阪府みどり公社 農政チーム



2014年～「ハートフル企業農の参入促進事業」

- ・ 企業参入支援パッケージ作成
- ・ 研修の場の確保
- ・ 企業参入サポート 等

目指す

Ⅲ 福祉分野等からの農業参入支援（小括）

●福祉分野等からの農業参入支援

- ・担い手不足の地域における展開

- ・都市部の場合，大消費地が近い

⇒農業に参入した企業等が，付加価値の高い農産物を大量に生産することで
障害者の雇用の場を創出できる

- ・普及事業や農地中間管理事業等，既存の支援策の活用が可能



その際にも福祉分野に関する知識や参入例等の情報を蓄積し，
場合によっては両分野に詳しい人材を育成・配置する必要

農福連携の支援体制を構築している 地方公共団体等の事例（再掲）

I・・・農作業請負のマッチング支援
III・・・福祉分野等からの農業参入支援

II・・・障害者の農業経営体等での就労支援
IV・・・I～IIIの複合的、段階的な支援

		実施主体名	開始年度	主な支援内容		
				農作業請負 （施設外 就労等）の マッチング	障害者の 農業経営 体での 就労支援	福祉分野 等からの 農業参入 支援
I	香川県	NPO法人香川県 社会就労センター協議会	2011年度	●		
	鳥取県	鳥取県 （農福連携推進プロジェクトチーム）	2010年度	●		
	静岡県・ 浜松市	NPO法人しずおか ユニバーサル園芸ネットワーク	2005年度	●		
II	名張市	名張市障害者アグリ 雇用推進協議会	2008年度		●	
	兵庫県	障害者農業訓練・就労支援 ネットワーク会議	2012年度		●	
III	大阪府	（一財）大阪府みどり公社 （農政チーム）	2005年度			●
IV	島根県	（公財）しまね農業振興公社	2012年度	●	●	●
	奈良県	奈良県 （農林部・健康福祉部）	2010年度		●	●

資料：聞き取り調査より報告者作成。

Ⅳ I～Ⅲの複合的，段階的な支援（島根県）

●取組みの背景

- ・就労継続支援B型事業所の工賃向上
- ・高齢化に伴う担い手不足



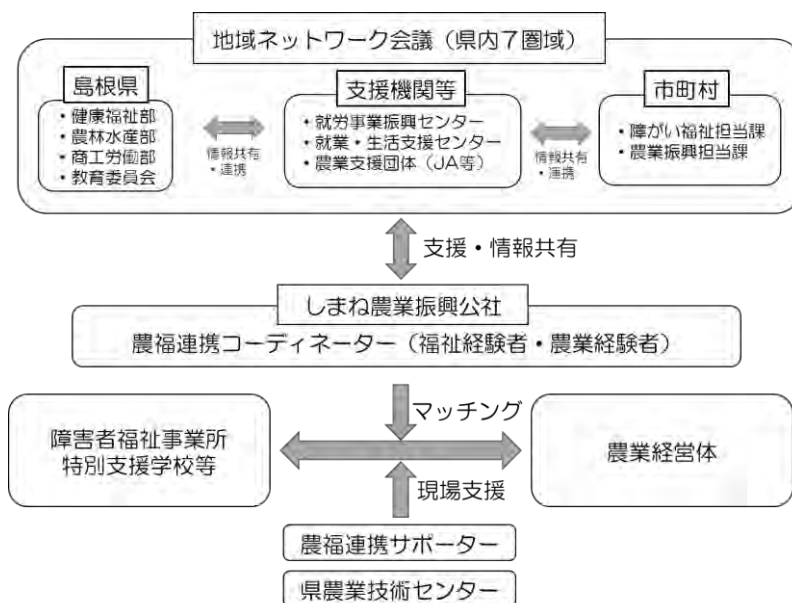
- ・積雪により周年の作業受委託は困難
- ・小規模な農業経営体が多い

●複合的な取組み ※就労継続支援B型事業所を対象

- ①農作業請負（施設外就労）のマッチング
- ②加工や原料栽培の受委託のマッチング
- ③農業経営体での障害者雇用や実習の支援
- ④社会福祉法人等の農業参入や経営拡大の支援

●実施体制（2012年度～）

- ・ **しまね農業振興公社**が受託
農福連携コーディネーター2名（福祉経験者・農業経験者）を配置
- ・ 県内7圏域ごとに地域ネットワーク会議を設立，関係機関が参加
→連絡会議の開催
- ・ 農福連携推進研修会の開催・・・福祉事業所の栽培技術向上，関係機関や事業所間の情報共有
- ・ 「農福連携サポーター」・・・福祉事業所への技術指導（元普及員等）9名
- ・ 農業技術センター・・・障害者が作業しやすい圃場環境，作業適性に関する実証調査
→受入れ農家へのアドバイスに向けた検討

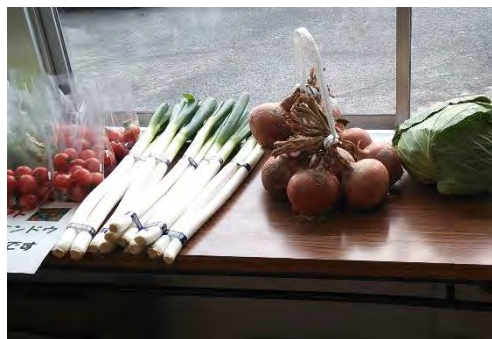


Ⅳ I～Ⅲの複合的，段階的な支援（島根県）

●支援事例：福祉事業所「太陽の里」（出雲市・旧斐川町）

就労継続支援B型事業，生活介護 ➡ 農業・関連事業に特化

- ・ 農業生産：露地3ha，ハウス18a
（水稻，タマネギ，キャベツ，白ネギ，ショウガ，ミニトマト等）
- ・ 加工：トマトソース，焼き肉のたれ，味噌等
- ・ 施設外就労：タマネギ収穫，堆肥散布等



トマトソースの増産（1万本目標）
⇒周辺事業所に原料栽培依頼



←周辺の3事業所でトマト栽培を導入，規模拡大して対応

↑農福連携サポーターによる
栽培技術指導

Ⅳ I～Ⅲの複合的，段階的な支援（島根県）

実績（2013・14年度）

- ・ 農作業受委託（施設外就労）のマッチング・・・2年間で27件
（新規就農者2件，法人経営等）
- ・ 高齢農家からの農業継承・・・3事業所（ブドウ，ネギ，ブルーベリー）
- ・ 農業分野への取組み希望事業所の開拓・・・9事業所
- ・ 福祉事業所間の連携

課題

- ・ 農業サイドへの一層の啓発
- ・ 福祉事業所が農作業委託ニーズに応えられる体制や技術の向上
- ・ 圏域または市町村単位での自発的な農福連携の取組みを促進

⇒2015年度からは，農業と福祉に限定しない地域連携の事業内で実施

Ⅳ I～Ⅲの複合的，段階的な支援（奈良県）

取組みの背景

- ・ 高齢化に伴う担い手不足
- ・ 耕作放棄地率の高さ（19.0％）



農外からの参入を含む
意欲ある担い手の確保の必要性

- ・ 2011年度～事業本格化

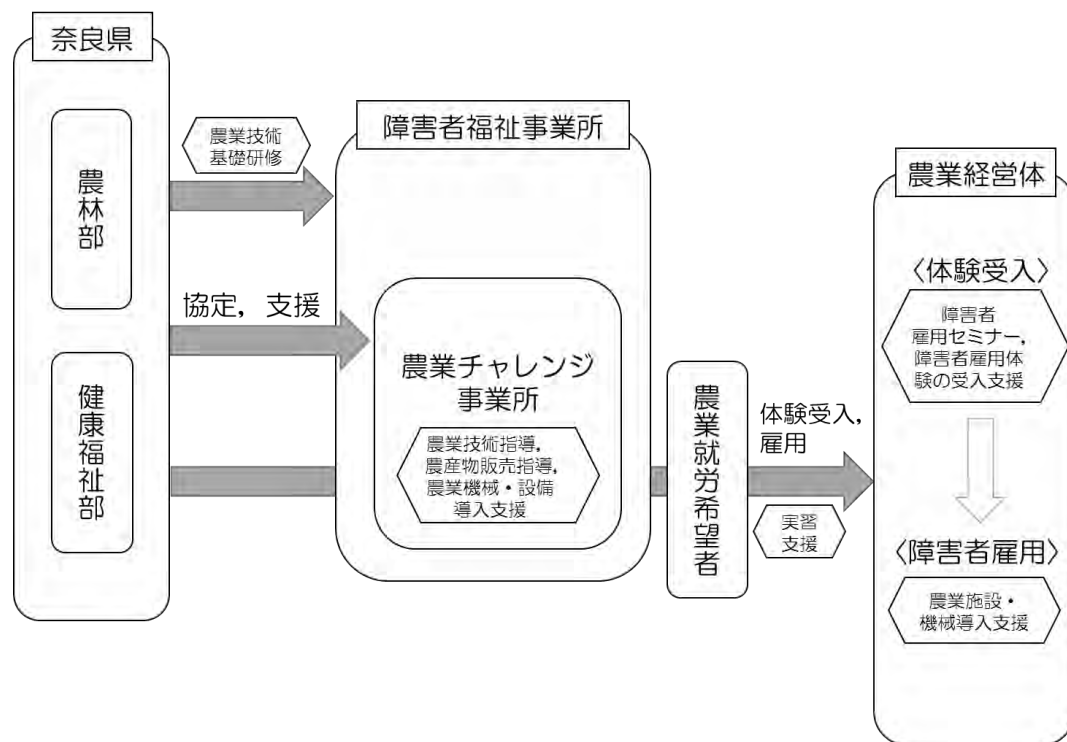
段階的な支援

①福祉事業所の農業参入支援



農家での就労希望者
ステップアップ

②農業経営体での一般就労に向けた支援



Ⅳ I～Ⅲの複合的，段階的な支援（奈良県）

ステップ① 福祉事業所の農業参入支援

県内105か所の福祉事業所中，31か所が農業を取り入れている
しかし，課題は生産技術，販路

- ・全福祉事業所を対象とする農業技術基礎研修の実施（年1回）
- ・農業に意欲的な福祉事業所は「**農業チャレンジ事業所**」として県と協定を締結（年1～2事業所）

県の普及員から原則3年間集中的に支援を受ける
（生産・加工技術，販路，機械導入等）

ステップ② 福祉事業所での作業を通じて， 障害者が農業経営体での一般就労を希望

農業経営体での実習等を支援

農業経営体への啓発，障害者就労に必要な施設支援等

Ⅳ I～Ⅲの複合的，段階的な支援（奈良県）

●農業チャレンジ事業所の例

社会福祉法人ちいろば会

- ・就労継続支援B型事業
- ・生活介護



農業生産，喫茶・レストラン，菓子加工



課題：

- ・安定生産
- ・ジャム加工技術



2011年，県と協定締結

施設職員への直接指導，
メール等での相談や
作業適期の通知

- ・普及員によるブルーベリー栽培指導
（間伐，改植，剪定，防除等）
- ・ジャム加工技術指導，農家向け講習会への参加



- ・農業部門の生産拡大意欲
- ・ブルーベリー狩り等の関連部門の充実

Ⅳ I～Ⅲの複合的，段階的な支援（奈良県）

実績（2014年度）

- ・「チャレンジ事業所」・・・7事業所
イチゴ，ブルーベリー，ネギ等の栽培や加工に取り組む
- ・農家での就労体験受入・・・1名（キク部会）
- ・農家での一般就労・・・1名（軟弱野菜生産農家）

課 題

- ・障害者への生産技術指導方法の確立
- ・農作業請負（施設外就労）マッチングの仕組みづくり
- ・組織内部の連携強化による支援の充実
（例：商工部の参画→販路開拓支援，就労先の拡大）

Ⅳ I～Ⅲの複合的，段階的な支援（小括）

園芸作地帯，水田単作地帯，都市近郊地域のいずれにおいても
実際には多様な農業経営体が存在



様々なマッチングや支援が行えることが理想



複合的，段階的な支援の実施

⇒様々な支援パターンに対応できるよう，幅広い主体をネットワーク化

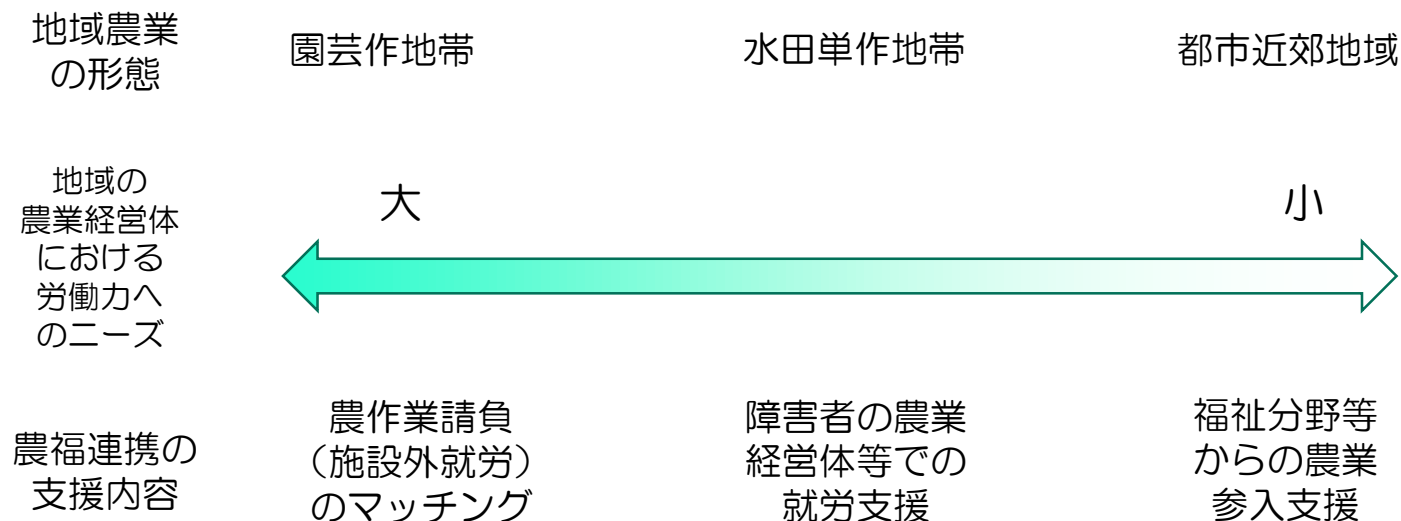
⇒そのためのコーディネーターの役割が重要

⇒持続的なネットワークの構築も重要

事例分析のまとめと考察①

●地域農業の特徴（課題）に対応した取組み内容

共通課題 農業：担い手の確保，農地等地域資源の維持・活用
福祉：職域の拡大，工賃（賃金）向上



※上記は現時点で事例から読み取れる傾向であり，必ずしも固定的なものではない。

事例分析のまとめと考察②

●類型別の特徴と課題

①農作業請負（施設外就労等）のマッチング支援

- ・受発注体制（個別，共同）の確立
- ・マッチングを行うコーディネーターの役割が重要

②障害者の農業経営体等での就労支援

- ・一般就労を目指すため，受入側（農業経営体）のインセンティブ向上，現場でのきめ細かい支援が必要

③福祉分野等からの農業参入支援

- ・農業分野における既存の支援の活用（普及事業，農地中間管理事業等）が可能
- ・農業・福祉の両分野に詳しい人材を育成・配置する必要

④複合的，段階的な支援

- ・様々な支援パターンに対応できるよう，幅広い主体をネットワーク化
- ・全体をとりまとめるコーディネーターの役割が重要

事例分析のまとめと考察③

●調査事例からみる地方公共団体の役割

- ・ 地方公共団体が直接的・間接的に事業を実施

幅広い主体のネットワーク形成
情報の共有化

- ・ 地方公共団体内部での部局横断的な連携

農業分野，福祉分野に関する情報収集（自治体内部・外部），
情報・支援策の一元化

商工部局の参画のように，地方公共団体内部での
連携が充実すれば，販路面など，支援の幅の広がりも期待できる

●課題

- ・ 地方公共団体による支援を契機として，これらの取組みを
どのように継続・発展させていくのか，主体間の連携と役割分担の
中での検討が必要となる

補足説明①

●社会福祉法人等が提供する就労系障害者福祉サービスの種類と概要

就労系サービス	就労継続支援B型事業 (<u>非雇用型</u>)	就労継続支援A型事業 (<u>雇用型</u>)	就労移行支援事業	(参考)一般雇用
概要	一般企業等での就労が困難な人に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う	一般企業等での就労が困難な人に、雇用して就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う	事業所や特例子会社における雇用、在宅勤務等
利用期間	制限無し	制限無し	通常2年間	—
最低賃金の支払い	—	○	—	○
障害福祉サービス費等の報酬	○	○	○	—

出所：厚生労働省ウェブサイト（<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/service/naiyou.html>）を参照して作成

注1）：「障害福祉サービス費等の報酬」は事業所職員の人件費等に充当される。報酬水準は実施したサービス内容や実績等により異なる。

2）：障害者への工賃・賃金は事業収入（販売収入等）から支出される。

補足説明②

●施設外就労

「施設外就労」とは福祉施設の利用者（障害者）と職員がユニットを組み，企業から請け負った作業を当該企業内で行う活動。

●特例子会社制度

事業主が，障害者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し，一定の要件を満たしているとの厚生労働大臣（公共職業安定所長）の認定を受けた場合には，その子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして，実雇用率を算定できることとし，障害者の雇用の促進及び安定を図ることとしたのが「特例子会社制度」である。（農林水産政策研究所（2012）32頁より引用）

引用・参考文献

- 飯田恭子・香月敏孝・吉田行郷・小林茂典・出田安利・松島浩道（2011）「福祉施設における農業分野の障害者就労の実態と課題」，日本農業経済学会『農業経済研究 別冊, 日本農業経済学会論文集』64-71頁
- NPO法人日本セルフセンター（2014）『農林水産省「平成25年都市農村共生・対流総合対策交付金」事業 農と福祉の連携についての調査研究報告』
- 大澤史伸（2010）『農業分野における知的障害者の雇用促進システムの構築と実践』，みらい
- 鈴木厚志（2013）「農業と福祉のいい関係！誰もが働けるユニバーサル農園の取組」，近藤竜良編著（2013）『農福連携による障がい者就農』創森社，104-113頁
- 濱田健司（2010）「農業生産分野における障がい者雇用モデルに関する研究」，JA共済総合研究所『共済総合研究』第60号，128-145頁
- 豊田正博・天野玉記・諏訪均（2012）『平成23年度受託研究 農業分野における障害者の就労支援モデル事業に関する調査・研究』
- 農村工学研究所（2013）『農業分野における障害者就労マニュアル』
- 農林水産省「福祉分野に農作業を～支援制度などのご案内～」・<http://www.maff.go.jp/j/keikaku/pdf/ver2.pdf>・2014年8月25日アクセス。
- 農林水産政策研究所編（2011）『農業分野における障害者就労と農村活性化—社会福祉法人，NPO法人，農業生産法人の活動事例を中心に—』
- 農林水産政策研究所編（2012）『農業分野における障害者就労と農村活性化—障害者施設における農業活動に関するアンケート集計結果及び特例子会社の農業分野への進出の現状と課題について—』
- 三森裕（2014）「農業における障害者就労の事例と特別支援学校における農業に関する取組の状況について」，農政調査委員会『農—英知と進歩—』No.294
- 安中誠司・山下仁・片山千栄・石田憲治（2010）「農業分野での障害者就労の類型化による支援課題の抽出とその解決方策」，農村工学研究所『農村工学研究所技報』第210号，49-59頁
- 吉田行郷（2013）「農が福祉をとりいれることの意義——社会福祉法人等の農業分野への進出が農業・農村に及ぼす影響」，『農業と経済』2013年11月号，昭和堂
- 吉田行郷・香月敏孝・吉川美由紀（2014）「農業分野に本格進出した特例子会社の実態と課題—地域農業の担い手としての特例子会社の可能性—」，日本農業経済学会『農業経済研究』第86巻第1号，12-26頁

ご静聴ありがとうございました